

モニタリング結果報告書 (令和4年度)

1. 施設概要

施設名	花と緑のふれあいセンター		
所在地	平塚市寺田縄496番地1		
サイトURL	http://www.kana-garden.com/		
根拠条例	神奈川県立花と緑のふれあいセンター条例		
設置目的(設置時期)	花き園芸その他の農業を楽しむための情報提供施設 (平成18年2月)		
指定管理者名	(株) かながわGAパートナーズ		
指定期間	H21.12.1 ~ R12.3.31 (2009年) (2030年)	施設所管課 (事務所)	農政課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p>※新型コロナウイルス感染症や原油価格高騰が3項目評価(利用状況、利用者満足度、収支状況)に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。</p> <p>利用状況はA、利用者の満足度調査はS、収支状況はS評価となったため、3項目評価をS評価とした。 利用状況は、利用者数が目標値に対して102.8%となったことからA評価とした。 ファミリー向けのイベントなど、年間を通じた企画を実施したことで、年間パスポート利用によるリピーター及びファミリー層を確保できたことで、利用者数は過去最高実績となった。 また、利用満足度調査は「満足」及び「どちらかといえば満足」が95.2%を占める結果となったことから、S評価とした。 収支状況は、利用者の増加により利用料金収入等が計画を上回り、マイナス収支の縮減率が78.51%となったことから、S評価とした。</p>
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 バラをはじめとする季節の花木の植栽管理を行い、年間を通じて園内を良好な状態に維持することができた。 季節に合わせた企画の実施に取り組みながら、メディアや県広報など様々な広報活動に取り組んだ。</p> <p>◆利用状況 事業者の工夫と併せ新型コロナウイルス感染症対策の緩和により、令和3年度と比較して、利用者数は108%の増加となった。 利用者の屋外施設のニーズを捉えた企画を実施する事業者の集客努力がリピーター及びファミリー層の確保につながり、過去最高実績であった昨年度を超える実績となり、計画目標値を達成することができた。 年度を通じた利用者数は過去最高実績となる226,338人であり、利用状況はA評価とした。</p> <p>◆利用者の満足度 利用者満足度調査のうち、全体満足度の項目において「満足」及び「どちらかといえば満足」の割合が95.2%となりS評価となった。</p> <p>◆収支状況 マイナスの収支の縮減率は78.51%となりS評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 苦情・要望はなかった。</p> <p>◆事故・不祥事等 事故・不祥事はなかった。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 特になし。</p> <p>◆その他 特になし。</p>

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう。
S	A	S	S	S: 極めて良好 A: 良好 B: 一部改善が必要 C: 抜本的な改善が必要

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	毎月実施	指定管理者から提出された業務報告書及び現地の状況を確認した結果、適切に指定管理業務等が履行されていることを確認した。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	毎月実施	園内を巡回した際の植栽の状況、事業計画、実施事業の内容に係る調整、次年度計画等について協議を行った。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<展示事業> バラ以外の花き栽培展示にも力を入れていく。	特に植物が少ない閑散期となる冬の期間の展示事業について、12月にはアイスチューリップの展示及びクリスマス装飾を実施し、2月にはクリスマスローズ展を開催した。 また、早春の球根ミックス花壇展示を実施した。	冬のコンテンツであるアイスチューリップ、クリスマスローズ展は来園者に好評であった。 夏のハス田について、効果的な雑草防除を実施し、開花時期を迎えることが出来た。
<集客事業> ステージ等を活用したイベントを実施する。	季節に合わせた企画の実施とステージを活用した地域連携や愛好家団体の利用など集客を図った。	夏の盆踊りやハロウィーンなど季節に合わせたイベントの実施によるリピーター及びファミリー層の確保につながった。
<体験学習事業> 農作物の収穫体験等、楽しみながら学ぶことができる体験学習プログラムを実施する。	気づき体験事業として、田植え、稲刈り、野菜・花きの収穫体験事業を実施した。	病虫害防除が課題であったプラントハウスのカーネーションは防除の見直しなど効果があり冬季の収穫体験を行うことが出来た。

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症等の影響がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
花菜ガイドの活動 バラエリアのガイドを通して、花菜ガーデン全体の魅力を伝えていく活動	ホームページで日程を公表し、当日先着順の募集を行い実施した。
ガイドツアーの実施 園内の樹木や宿根草を紹介する活動	季節に応じた植物の紹介を企画し実施した。
レストラン、売店 飲食の提供及び物販	レストランでは季節ごとのメニュー開発やモーニングの提供を、売店では園芸に関する商品や県・地域名産品等の販売を行った。

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症等の影響がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

6. 利用状況

評価	＜評価の目安＞ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特徴から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性保護施設と県営住宅等が該当）。
A	

	前々年度	前年度	令和4年度
利用者数※	116,397	209,481	226,338
対前年度比		180.0%	108.0%
目標値	222,821	221,430	220,106
目標達成率	52.2%	94.6%	102.8%

目標値の設定根拠： 業務要求水準の20.7万人/年を超える数値で算出

利用者数の算出方法（対象）： 入園者数

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由 _____

＜備考＞

<p>【新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響と対応状況】 (※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)</p>
<p>①新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照</p>
<p>②令和4年度の対応状況 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照</p>

7. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	窓口における通年アンケート及びイベント等における参加者アンケート実施	「満足」及び「どちらかといえば満足」で95.2%となり高評価であった。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 花菜ガーデンの印象についてお聞きします。全体満足度について。

実施した調査の配布方法 直接配付 回収数/配布数 887 / 2475 = 35.8%

配布(サンプル)対象 入園者20人名毎にアンケート依頼を実施

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	280	533	38	3	854	無回答 33人
回答率	32.8%	62.4%	4.4%	0.4%		
前年度の回答数	372	498	27	2	899	
前年度回答率	41.4%	55.4%	3.0%	0.2%		
回答率の対前年度比	79%	113%	148%	158%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が利用者満足度に与えた影響と対応状況】
 (※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響

新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和4年度の対応状況

新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

8. 収支状況

評価	≪評価の目安：収支差額の当初予算額がマイナスの施設≫ (収支差額の当初予算額-収支差額の決算額)/収支差額の当初予算額の比率(マイナス収支の縮減率)が、S(優良)：5%以上 A(良好)：0%～5%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：-15%～0%未満 C(収支差額の決算額の削減額が当初予算の85%未満)：-15%未満
S	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の主な内訳			収支差額	マイナス収支の縮減率 ※
前々年度	当初予算	77,880	63,107	16,471	農業体験等 2,138 広告協賛 1,650 サービス事業 12,683	157,458	206,308	-48,850	
	決算	106,689	36,682	26,855	農業体験等 1,801 広告協賛 1,540 サービス事業 12,037 コロナ対策費等 11,477	170,226	169,501	725	101.48%
前年度	当初予算	80,119	65,845	16,477	農業体験等 2,201 広告協賛 1,648 サービス事業 12,628	162,441	218,333	-55,892	
	決算	80,163	77,437	28,321	農業体験等 3,228 広告協賛 1,462 サービス事業 12,693 リスク負担金 10,938	185,921	191,359	-5,438	90.27%
令和4年度	当初予算	72,135	77,940	16,739	農業体験等 2,392 広告協賛 1,210 サービス事業 12,597	166,814	207,905	-41,091	
	決算	72,135	86,671	18,328	農業体験等 4,036 広告協賛 1,210 サービス事業 13,082	177,134	185,966	-8,832	78.51%

※収支差額の当初予算額-収支差額の決算額/収支差額の当初予算額

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和4年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が収支状況に与えた影響と対応状況】

(※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響

新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和4年度の対応状況

新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

9. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	件		
	件		
事業内容	件		
	件		
その他	件		
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。